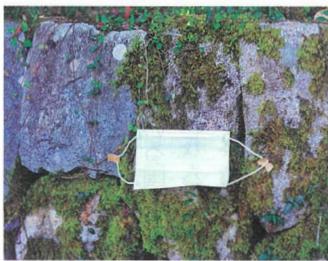




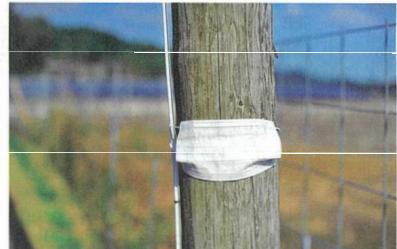
# 仏法領 ぶつぽうりよう

## 第82号

発行：真宗大谷派  
念信寺  
〒 824 - 0202  
福岡県京都郡みやこ  
町犀川上高屋761  
☎ 0930-42-0329  
Fax 0930-42-0502  
ホームページ  
[nenshinkji.org](http://nenshinkji.org)



去年の来てみて  
ギラリー



コロナウイルス  
聞いただけで、こわい。  
マスク着用、手指消毒、人と距離を  
保つ。  
再び、流行させない様に  
新しい生活様式にも慣れてきた。  
自分の出来る事をやつていこう。  
家族を守るために。  
自分の中の出来事もやつていこう。  
地域を守るためにも。

（大迫光浩 写真・文）

死んだらおしまいだと右往左往していい  
る、都合でしか生きてない自分は何者だろ  
うか？ そんな問い直しからコロナ後が始  
まればいいと思います。

先生の静かに受けと  
めながら生きる姿に感  
動を覚えました。人間  
は生や死を自然に受け  
とめられるように出来  
てているのかもしれません  
ん。



昨年のギャラリーテント

今日はコロナの蔓延が一段落した後につ  
いて考えてみました。  
現代の私たちは西に帰る世界、平等に帰  
つてゆく世界を失っています。月忌などで  
お参りすると教えられことがあります。  
よくお参りする仏壇はすこし線香の煙でい  
ぶされて重厚な感じになります。そこに生  
きる重みのようなものを感じます。大切な  
人を亡くすということは、この世での生き  
がいをなくすことです。そこから先に見え  
てくる世界、もっと大きな世界があるとい  
う気づきのようなものを感じます。  
認知症研究の第一人者の医師が認知症に  
なったというテレビをやっていました。先  
生が言うには、見える景色は変わらない。  
余分なものが剥がれ落ちてゆくと。

### コロナ収束後の生活

## リレーエッセイ

## コロナ後の生活

## 新しい生活様式

A M

(吉富町)



人が自分の生活の在り方、過ごし方、つまり自分の生活様式を変えるということは非常にむつかしいことだと思う。年端の行かない若年者を除いて、一般的な大人達はそれぞれに数十年単位の生活を続けて

いる。長年に渡つて続けてきて身に付いた生活のやり方、過ごし方は特に変える必要もないが、またこれで良いのだろうかと悩む必要もなくなる。とにかく前例通りにやついくことが楽なのである。

こんなことだから生活が習慣化しやすい。生活が習慣化したことが原因で、慢性的な病気を持つことになる。いわゆる生活習慣病といわれるもの。高血圧症、動脈硬化が原因の血管梗塞症、糖尿病、狭心症などの心疾患、こんなものは生活習慣病といわれるもので、基礎疾患とも呼ばれ、今や万病の基とされている。

私たちとつて、今年の春先から突然楽な生活習慣を変更せざるを得ない事態が発生した。新型コロナウイルスなるものの出現である。一年近くになろうかというのにその新型ウイルスの正体が分かつていないのである。

日本全体で、もう十万人近くの人が罹患する。

し、その内死者数は一千七百人に達している。全世界では、四千三百万人が感染し、死者数は百十五万人に達している。

医療的には最も進んでいる国と思われるアメリカでは、罹患者数は八六三万人、死者数二十二・六万人である。驚くべき数字が並ぶ。

新型ウイルスの正体が分かつていないために、未だに治療法が無いのである。現在の最も有効な治療法は、マスクと手洗いという極めて原始的な方法しかないのである。ここまで来れば私たちは、生活の様式そのものを変えなければ、生きては行けないのかも知れない。果たしてどんな生活様式が良いのか、また大悩みしなければならないようである。医学は猛烈に発展しているのに、その落差は大きいが珍奇ながらマスク、手洗いしか防御の方法がないというのも面白い。

戦略的には大胆に、戦術的には細心にという言葉がある。なあに！コロナなどに負けたまるかと言う気迫と、そうは言つても単純なことだがやはりマスクをし、手はこまことに洗おうという生活様式を習慣化する必要がありそうですね。



## 新型コロナ経験を活かして

柏木主税（犀川喜多良）

テレビのスイッチを入れれば、新型コロナウイルスの感染者数、感染防止対策、対策実施に伴い経済状況の低迷等の放映を毎回のようになります。

一刻も早期に新型コロナを撲滅し、収束させることにより、対策期間中の経験を活かして感染拡大前より、国際関係及び経済が良好になりますように願いたい。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

世間の情勢は様々な変化をして行き、それは私たちの日常を大きく変えるようになりますが、それらを一端脇に置いてお参りをすると、私の変わらない日常がここにあつたのだと思えます。



感染源と言われる中国で発生してから、瞬く間に全世界に拡大し、世界全體が混迷している。自然界の力（風水害含む）に対して、人間の無力さを感じさせられた。しかし、先人達はそれに立ち向かい努力し研究して不可能を可能としてきた。

百年前、第一次世界大戦中にアメリカ軍部隊で発生したインフルエンザは軍隊の移動関係もあり世界各地に感染が拡大し、日本も多くの感染者、死亡者の犠牲があつた。私の父方の祖父母もその犠牲者であつた。

対応に為す術のない時代に多くの科學者、政府機関、国民等、研究に研究を重ねて病気感染を収束させた。他の動物に比較して人間の進化はこういうところかもしれない。新型コロナについてお参りを一緒にするそうです。そこには昔からの変わらない日々が確かに息づいているよう思え、私は漠然と「いいなあ」と感じていました。

注いでいる。日本も新内閣の最重点項目に掲げ取り組んでいる。日本国民一人ひとりが国の政策に一致協力する必要があると思う。

こういう時こそ、相手を思いやり助け合う心がたいせつで、感染者には責任はないのであります。



お参りと日々の生活  
村上宣（念信寺若院）

秋も深まり冷え込む季節となり、今年も残すところ2ヶ月を切りました。振り返ってみると、今年は新型コロナウイルスに始まり、それに伴いオリンピックの延期や著名人の訃報などを皮切りに、私達自身も様々な日常生活の変化を余儀なくされました。皆右往左往したことと思います。



先日、とあるお宅に初めてお参りをさせて頂いたところ、息子さん御夫婦やお孫さんが後ろについてお参りされました。聞けばそのお宅は、昔から月のお参りには必ず家族みんなが帰ってきてお参りと一緒にするそうです。そこには昔からの変わらない日々が確かに息づいているよう思え、私は漠然と「いいなあ」と感じていました。

考えてみると、コロナウイルスで私は右往左往して日常は遠くに行つてしまつたようを感じていました。世界中の死亡者は4千万人を超えたといいます。しかし、それは言つてもお参りをする日々に変わりはないのだと思えます。

## 紳ちゃんの独り言

### 趣味と継続と健康



私の趣味は、詩吟、漢詩作り、  
ハーモニカ演奏、ウォーキング  
である。

ひろてる  
尾形紳光 (添田町)



漢詩大会 曲水の宴



吟詠大会



詩吟は習い始めて約25年、師範の免状を取得するまでになつた。漢詩作りは約5年、頭の体操のつもりで続いている。ハーモニカは3年弱、ある程度の曲は吹ける様になり今ではハーモニカ演奏技術の中でも大変難しいといわれている分散和音の練習をしていく。ウォーキングは60才までのジョギングを含めて45年になる。

継続は力なり（何事も続けることである程度の成果を得られるものであり、諦めずに取り組める事も自身の能力といえる）。

詩吟やハーモニカは、機会あるごとに舞台に立ち吟じたり演奏している。舞台上に立つ前の緊張感がなんともいえない良い気持ちである。

今回のコロナでは殆どの大会や催しが中止になり残念ですが、逆に日常の練習はしっかりと出来ていて感がある。

70才も半ばになりいつまでこの趣味を続けられるかわからないが、健康寿命を少しでも長く保つために続けていきたい。

## 秋のお彼岸法要のレポート

日時 九月二十七日～二十八日  
講師 瓜生 崇 先生 (滋賀県 玄照寺住職)

今回は「大無量寿経」のお話しをします。皆さん願いはありますか？

健康で和やかに生活できたらいいとか、子供が大きくなつてとか、病気が治るようによいような願いは持つていますね。しかしそれが本当の願いか。このために生まれて死んでゆくような願いかというと、そうでない。その時、その時の一時的な願いにすぎないのです。

お釈迦様は何の為に

生まれ、年を取り、死ぬのかわからぬとおしゃつた。気づいたら生まれて、そのうちに死んでゆく。私たちにはそれでは生きられないから、生きる理由を見つけようとする。自分の生きる価値をみつけようとする。しかし一日一日、自分の人生を失つて

自分が何をわかっていない、真っ暗な自分がいる。そのことを説いているのが「大無量寿経」。これが眞実のお経だと親鸞聖人はおっしゃる。

お説教、法話とは知つてない、真っ暗な自分がある。

同作業で、共に仏の願いを聞かうのが法話。

あれだけ勉強したけど何もないと気づいたのが親鸞聖人。本当に私は誰にも通じ合えない。無明。一番手に負えないのは自分。迷つ

たままで悟りの世界に気づいた。それが「大無量寿経」です。

## 老いの日々

念信寺前坊守 村上悦美  
(1933年生まれ)

一生懸命生きていく事が出来なくなる時が必ず来る。

世の中の為にならなくなる事が必ず来る。いのちは大事で生きることが尊いとは、お釈迦様は言わない。眞実に目覚めよと言われる。

お釈迦様は何に例へん例へ得ず

來なくなる時が必ず来る。いのちは大事で生きることが尊いとは、お釈迦様は言わない。眞実に目覚めよと言われる。

来なくなる時が必ず来る。いのちは大事で生きることが尊いとは、お釈迦様は言わない。眞実に目覚めよと言われる。

お釈迦様がれてありいとし子を

堂縁に掛け蜻蛉みてゐる

斯くも愛注がれてありいとし子を

見つむ両親光耀の中

(生後一ヶ月の赤ちゃんと仏参あり)

介護受く身にも葛藤ともすれば

介護する声少し大きく

好きだから「心の時代」とスポーツを

テレビが誘ふ日曜番組

好きたから「心の時代」とスポーツを

老いたりな諸行無常を身に受けて

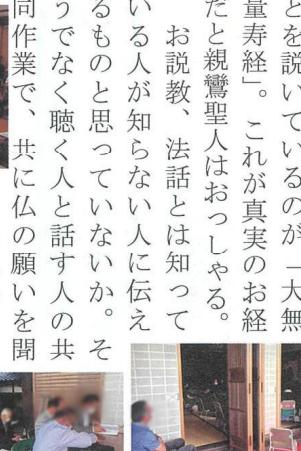
朝風呂入りデイケアに行く

釈の法名授かる老いの日々の

腕念珠して指輪はずせり



お釈迦様は一生懸命生きることがいいことだとは言わない。



今年もはや十一月となりました。秋になつた途端の空の色、対山の一本一本の木まで間近に見えるようで驚きました。水も澄むはずです。

寄る年波、さすがに生活の仕方が一日の過ごし方が随分変わってきました。感ずることが俳句ではなく、短歌となつて口をつけます。

まつたくの素人ですので、近くに教えて下さる先生を探して居ります。も心当たりがございましたら教えて下さい。

# 御正忌・報恩講ご案内



皆様には、時下ますますご清祥のことと存じます。はや、年の瀬も近くなり、報恩講の季節になりました。報恩講は親鸞聖人のご命日をご縁とする法座で、真宗門徒が最も大切にしてきた法要です。

コロナ禍を配慮して左記の日程で厳修させていただきますので、ご参詣聴聞くださいますようご案内申し上げます。

## 記

●日時 十一月二十一～二十三日

| 日 時     | 午 後 一 時 半 ツ | 地 区 の お 参 り 予 定               |
|---------|-------------|-------------------------------|
| 二十一日(土) | 法話 二席       | 城井谷地区・その他※                    |
| 二十二日(日) | ご伝鈔・法話      | 犀川谷地区・その他                     |
| 二十三日(月) | 登高座・法話      | 上高屋地区・その他                     |
| 勤労感謝の日  | 一席          | ※その他とは、豊津・築上・行橋・苅田・田川・北九州等です。 |

●講師 中西 無量 先生 二十一、二十三日

江本 忍 先生 二十二日  
田川市 西岸寺住職 四日市別院輪番  
中津市 長仁寺住職

## コロナ対策として

●マスクの着用をお願いします。

●お茶は各自ご持参ください。

●法座は3日間午後のみ、お斎はありません。

●体調の不安がある場合はご遠慮ください。

●出来れば地区指定の日にお参りください。

●本堂の椅子は余裕をもって配置し、換気に努めます。

●出来れば地区指定の日にお参りください。

10/10～10/11月 みやこ町犀川上高屋

妙見山 念信寺



10/13、14・京都組育成員研修、於通善寺

## お寺の催し・活動



念信寺お彼岸のお莊嚴  
9/27・28



10/19坊守学習会、於念信寺



10/23早朝、秋の気配深まる



10/21御正忌おみがき、上高屋

仏教婦人会、今年は早めに

|                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ●皆作永代經彼岸法要<br>六月末 | ●秋彼岸法要<br>十月二（土）、三（日）日 |
| 講師 未定             | 講師 瓜生 崇 師(滋賀・東近江市)     |

## 行事予定

### 四日市別院 団体参拝

12月15日（火）午前10時半よりバス団体参拝  
参加費四千円（お斎代含む）申込 12月1日までに

※12月13日午後のお参りは別に申込  
必要です。



## 私が僧侶になつたワケ

～コロナ禍を通して  
“いのち”を考える～



10/3 みんなでお参り



10/22京都組会、於真念寺

今年はコロナウイルスの影響でお寺関係の教化事業も中止が多く、町おこしイベントの来てみてギャラリーや取りやめになりました。しかし寺報を作るのにお寺のイベントを整理していると、それでもほとんどが研修会や会議の主催者としてかかわっています。我ながらよくやるなあと感心しています。

## あとがき



10/22京都組会、於真念寺



来寺されるご門徒・家族の皆さんのはとんどがコロナ感染予防のためマスク着用です。顔半分が隠れて困っています。初めてお目にかかるた方達なので大変残念な思いです。テレビ、街中、スーパー等々世界中マスクの人ばかりです。ちょっと引いて見ると非常に異様な風景です。「コロナ終息後、現在の録画や写真を振り返って懐かしく笑えるときが一日も早くきほしいと切に願わざるはいられません。

